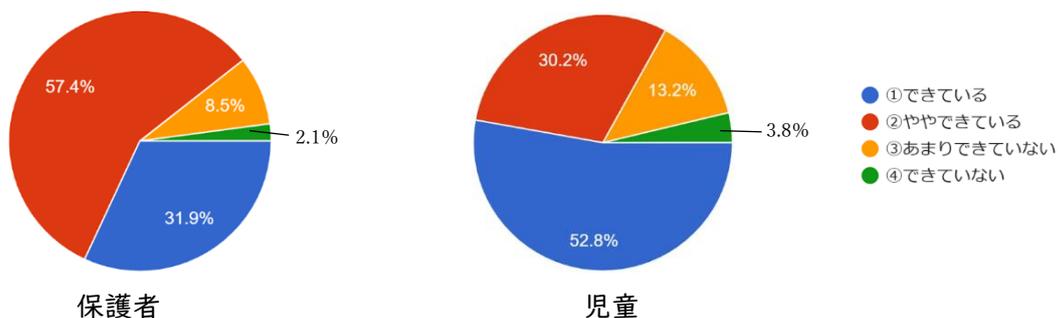


保護者・児童アンケート(12月実施)の結果について

令和7年2月

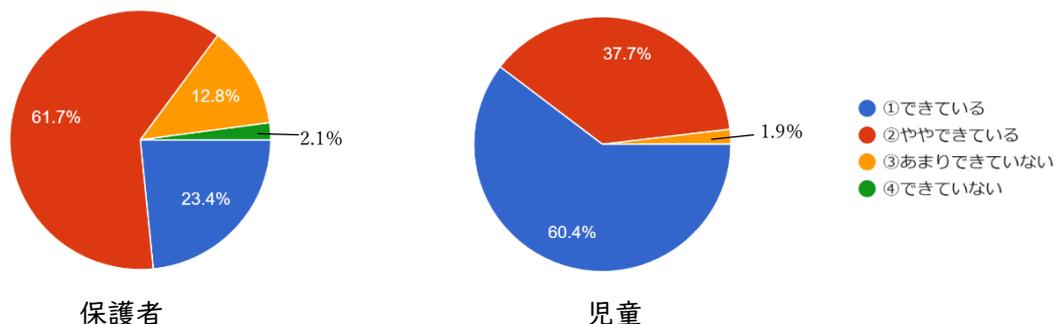
丹波篠山市立 西紀小学校

①学習に進んで取り組んでいるか。



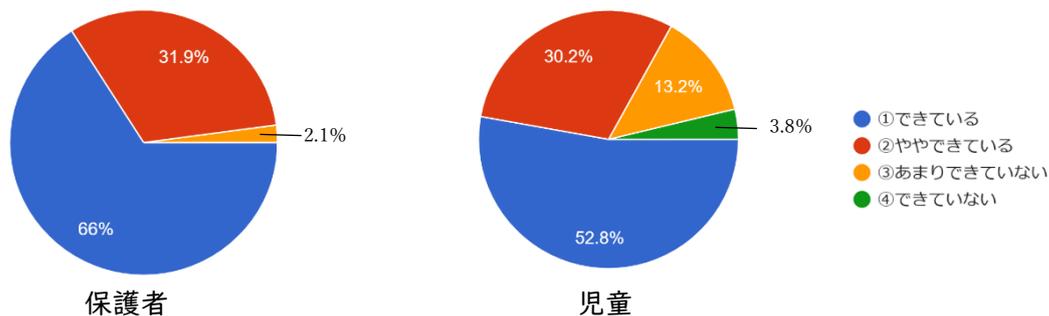
「できている」「ややできている」の数値は、保護者が89.3%、児童が83%となっています。学校での学習においては、「あまりできていない」「できていない」の児童に目を向け、必要に応じて複数の教員による指導をしながら、個人差に対応しています。家庭学習においては、既習の内容の練習に加えて、力を高めるための自主学習にも取り組めるよう指導していきます。

②学力が身についているか。



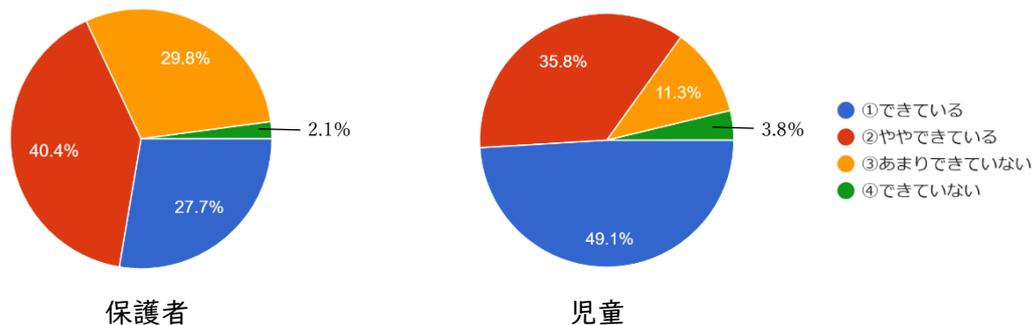
児童と保護者ともに「できている」「ややできている」の数値が85%以上になっています。しかし、児童の学習の様子を見てみると、学習したことをしっかり身につけるためには、語彙力や計算力などの基礎的な学力が必要不可欠です。学校では、系統的に学力を身につけさせるため、授業前、朝の学習タイムで復習を取り入れながら継続的に練習したり、教え合いながら学ぶ場を設定したりして指導していきます。ご家庭でもお子さんの学習の様子を見ていただき、声かけをお願いします。

③自分の想いを表現できるか。



「できている」「ややできている」の数値は、保護者が97.9%、児童が83%と差がある結果となっています。国語科の「話す、聞く」の内容だけでなく、どの教科においても伝え合う活動が増えています。児童の様子を見ると、伝えたいことが適切に伝わっていない場面も見られます。クラスでの朝の会帰りの会や全校朝会、全校学習タイムなどの中で、伝え方を学習しています。ご家庭での話題の中でお子さんの思いの伝え方をアドバイスいただけたら嬉しいです。

④ノートを丁寧に書いているか。



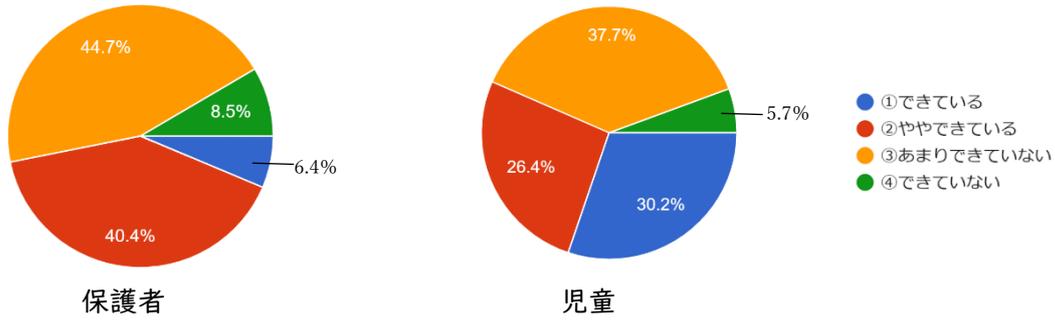
保護者の「できている」「ややできている」の数値が68.1%と低めになっています。学校では、学年に応じて「めあて」や「ふりかえり」の書き方や、丁寧なノートの使い方について指導しています。また、授業と家庭学習でノートの丁寧さに差が感じられます。家庭学習ノートも含めて、見返したときに見やすいように丁寧に書く習慣をつけるために、手本となるノートの書き方を示し、基本の書き方を身につけるよう指導していきます。

⑤全校学習タイムで話したり聞いたりできているか。



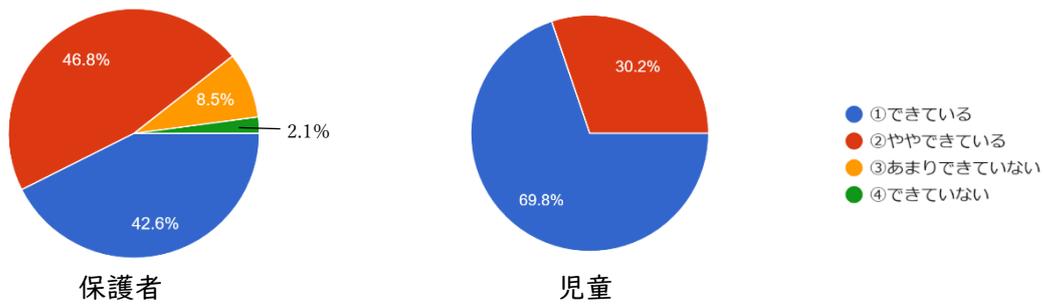
今年度、全校学習タイムにおいて学校全体の課題について話し合いを積み重ねてきました。その内容を学校、家庭、地域で共有し、教科の学習で学んだ伝え方を全校学習タイムで活用し、さらには生活の中で生かしていくことが望まれます。そのために、全校学習タイムの内容を積極的にお知らせしていきますので、ご家庭でも、学校の様子について話題に挙げてアドバイスいただけたら嬉しいです。

⑥腰骨を意識しているか。



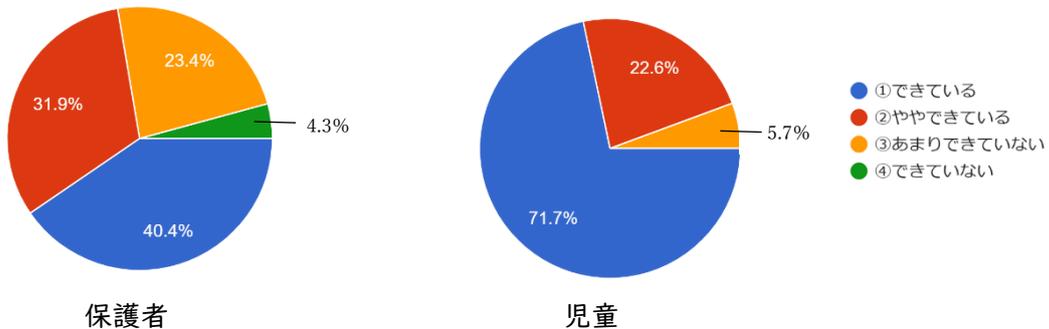
「できている」「ややできている」の数値は、保護者が 46.8%、児童が 56.6%と低くなっています。腰骨を立てることにより「①集中力アップ」「②体が健康になる」「③心が落ち着く」などの良い効果があります。学校では月水金の朝に 1 分間「腰ばねタイム」に取り組んでいます。今後も再度意識が高まるように根気強く指導を続けていきます。ご家庭でも食事や学習時などに声をかけていただくと嬉しいです。

⑦ふるさとに親しんでいるか。



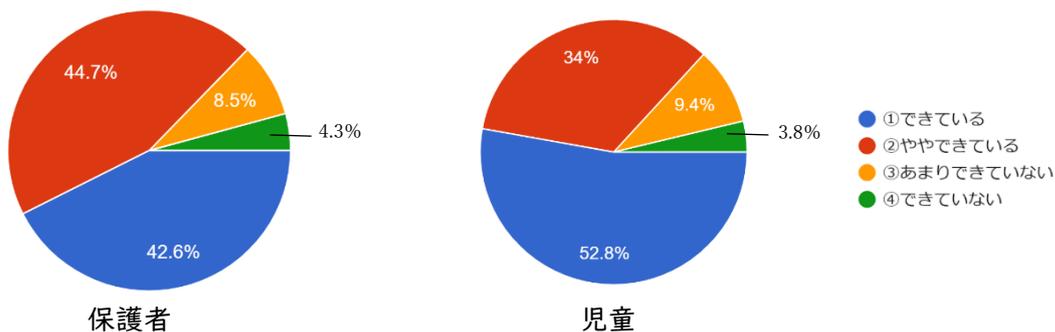
児童の「できている」「ややできている」の数値が 100%と高いです。今年度の地域校外学習で「黒豆の館」「弘誓寺」「西紀農産加工組合」「フードショップいじり」を訪問しました。また、地域の方々のご協力により、田植え、稲刈り、黒豆栽培、地域校外学習、各施設との連携、地域を学ぶ活動を行わせていただいています。学校だけではできない学びを地域で行うことで、児童の心は育っています。今後も、親子で地域の行事に参加するなど、ご家庭でも地域と連携して子どもたちを育てる機会をつくっていただければ嬉しいです。

⑧夢や希望に向かってがんばっているか。



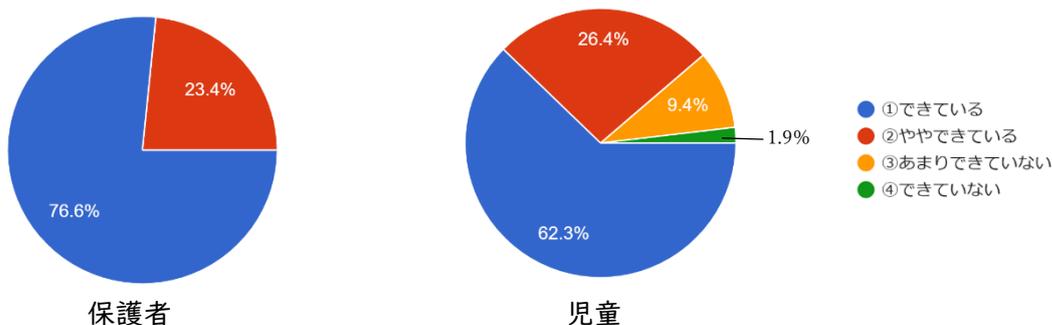
「できている」「ややできている」の数値は、保護者が 72.3%、児童が 94.3%と差がある結果となっています。学校では「夢をもって全力で挑戦する」ことを大切に、「キャリアパスポート」等を活用して、夢や自分の生活を見つめる機会をつくったり、授業や地域の行事において目標を立て、振り返る時間をつくって達成感を味わわせたりさせながら、夢や目標に向かって努力する児童を育てることを目指しています。「キャリアパスポート」等で児童が夢や目標に向かって取組む姿をご家庭にお知らせした際には、お子さんの夢について共に語り合う機会をとっていただければ嬉しいです。

⑨あいさつができていますか。



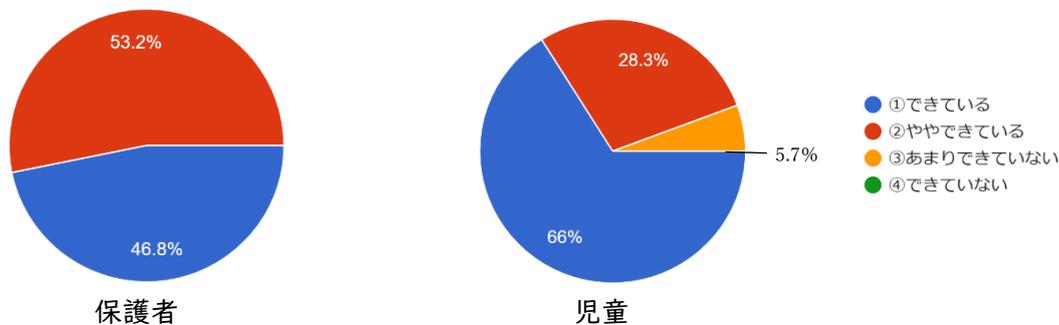
児童と保護者ともに「できている」「ややできている」の数値が 85%以上になっています。終会時には元気よく「さようなら」の挨拶ができています。地域の方に挨拶をする西紀っ子の姿も見かけます。特に相手よりも先に自分から挨拶することや、どんなあいさつが良い挨拶なのかを、学校では、大切にしています。

⑩学校は楽しいか。



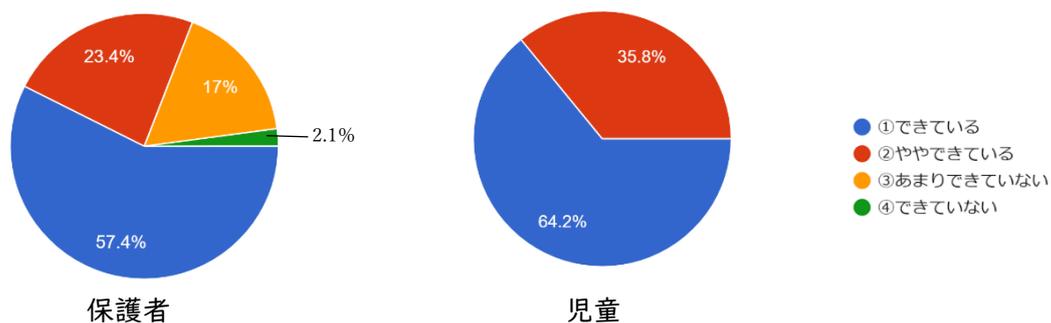
「できている」「ややできている」の数値は、保護者が 100%、児童が 90%近くになっています。大多数の児童が楽しく学校に通っており、保護者の方も、子どもたちが気分良く登校できるよう、学校へ送り出している様子がうかがえます。しかし、そう思っていない子には、学校に来にくい子のサインを見のがさず、学年だけでなく、縦割り班での活動の中で様子を見たり、家庭や関係機関との連携を深めたりして、楽しい学校生活になるよう、努力していきます。

⑪人権意識は育っているか。



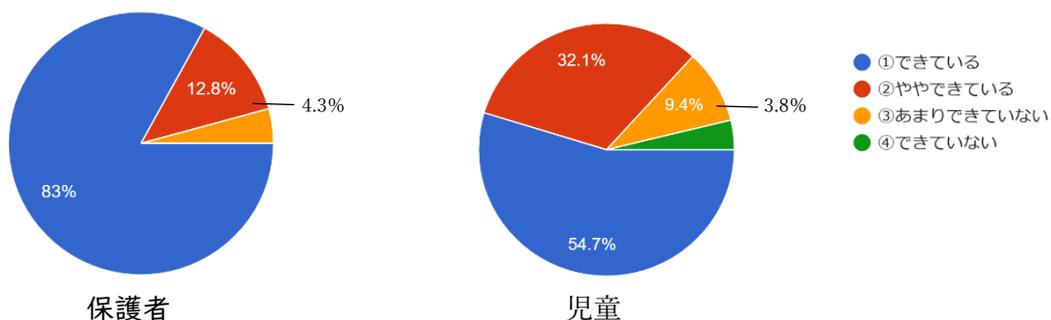
「できている」「ややできている」の数値が保護者 100%、児童はが 94.3%です。学校では、人権朝会、道徳などの授業、学校生活全般において人権指導を行っています。日頃の些細な言葉のやりとりや行動もよく観察し、子ども同士のいざこざも良い学びの機会として捉えていきます。保護者と連携して、その都度よりよい言動を考えられるよう、引き続き人権を意識した指導をしていきます。

⑫運動に親しんでいるか。



児童の「できている」「ややできている」の数値が100%と高いです。学校では休み時間には運動場で元気に遊ぶ子どもの姿をよく見かけます。縦割り班遊びなどで異学年が混じり合っ「ケイドロ」「ドッジボール」「サッカー」を楽しんで行う姿も見られます。室内で過ごすことの多い児童にも、委員会活動の企画などで運動に親しめるよう促していきます。遊びの中で異学年でのトラブルが起きることもあるため、その都度規範意識やルールを守ることを根気強く指導しています。体育科を中心に安全に楽しく体力や運動の能力を高められるよう引き続き指導していきます。

⑬学校の様子が家庭に伝わっているか。



保護者の「できている」「ややできている」の数値が95.8%でした。学校では、西紀っ子だより、学年通信、ほけん便り、学校HP、tetoruを通じて学校の様子をお知らせしています。普段からよくご覧いただいていることに感謝致します。ただ、学校で子どもに渡した文章が保護者にうまく渡っていないケースもありますので、「学校でもらった文章は自分から渡す」指導も引き続き行います。ご家庭でもお声がけいただければありがたいです。

西紀小学校では、「西紀っ子スタンダード学習・生活のてびき」等を作成し、保護者様のご協力を得ながら多面的・多角的に児童の学力向上や生活習慣の充実をはかる取組を重ねてまいりました。

今後も子ども達の健やかな成長を期して、学校・家庭・地域との一層の連携に努めていきたいと考えております。子どもを中心にすえ、学校・家庭・地域が教育のトライアングルとして、この学校評価の報告書により課題を共有し、それぞれの場での関わり方や支援の方法の改善充実につなげたいと思っています。

今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。